



令和5年度 業務実績レポート

業務実績の詳細は、令和5年度業務実績等報告書をご覧ください。
(http://www.famic.go.jp/public_information/tsusoku/houkoku/)

- 1 肥料及び土壌改良資材関係業務
- 2 農薬関係業務
- 3 飼料及び飼料添加物関係業務
- 4 食品表示の監視に関する業務
- 5 日本農林規格、農林水産物及び食品の輸出促進等に関する業務
- 6 食品の安全性に関するリスク管理に資するための有害物質の分析業務
- 7 その他の業務



1 肥料及び土壌改良資材関係業務

業務名		実績
農林水産省からの緊急要請業務		実績なし
登録関係業務	肥料の登録申請に係る調査及び農林水産大臣への結果の報告件数	590
	肥料の原料・生産工程の変更に係る相談への対応件数	1,600
肥料の立入検査等業務	立入検査件数	219
	収去品の分析点数	141
土壌改良資材の立入検査業務	立入検査件数	26
	うち要指導として技術的助言を実施	5
	集取品の分析点数	23
牛海綿状脳症の発生防止関係業務	大臣確認検査件数（※1）	21
	センター確認検査件数（※2）	53
肥料の安全性及び品質の確保に関する支援業務	未利用資源の肥料利用拡大に向けた対応	肥料登録の要件である品質管理計画の基準を検討・策定
	品質管理計画の適合性調査件数	5
	仮登録（※3）申請に係る調査件数	農林水産大臣からの指示なし
	仮登録申請に係る肥効試験件数	農林水産大臣からの指示なし
	事業者からの公定規格改正の申出に係る対応件数	1
	汚泥肥料中の放射性セシウム測定件数	33
	家畜ふんを原料として使用している汚泥肥料等のクロピラリド測定件数	16
	クロピラリドに係る取組の周知件数	17
肥料の外部精度管理試験を実施する肥料生産業者及び都道府県肥料検査指導機関及び分析機関に対する技術的助言等	農林水産省からの要請に応じ、技術的助言等を実施	
調査研究業務		9 課題

- ※1 大臣確認検査：牛の部位を原料とする肉骨粉等について、農林水産大臣からの指示に基づき牛脊柱等が混入しない工程で製造していること等を確認する検査。
- ※2 センター確認検査：肥料原料用の豚、家きん等に由来する肉骨粉等について、農林水産省が示す製造基準に適合していることを確認する検査。
- ※3 仮登録：公定規格に定めのない普通肥料の生産又は輸入に際しては、銘柄毎に農林水産大臣の仮登録を受けなければならない。



立入検査での肥料のサンプリング

全体を代表する均一な試料とするために、広げた肥料を区画分けして、それぞれの区画からサンプリングしているよ。



FAMICイメージキャラクター
ファミ（FAM）

2 農薬関係業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急要請業務		2 件	
農薬の登録及び再評価に係る業務	基準値設定 必要農薬	農林水産大臣からの審査指示件数 (※4)	527
		農林水産大臣への年度内報告件数	87
	基準値設定 不要農薬	農林水産大臣からの審査指示件数 (※4)	1,145
		農林水産大臣への年度内報告件数	743
	再評価	農林水産大臣からの審査指示件数	1,208
特定試験成績の信頼性の確保に関する業務	農薬GLP (※5) 制度に基づく調査を実施した試験施設数	20	
	ギリシャのOECD GLP現地評価に評価チームメンバーとして対応	ギリシャのGLP調査機関の調査実施能力を評価	
農薬の立入検査等業務	立入検査件数	40	
	集取品の分析点数	4	
農薬の登録審査に 附帯する業務	農薬の安全性その他の品質に関する科学的知見の収集及び解析	科学的知見を収集及び解析し、農林水産省に提供	
	農薬の登録制度等に係る国際会議への参加等 (農薬行政の国際調和への貢献)	OECD生物農薬専門家会合 (EGBP) に参加	
		国際農薬分析法協議会 (CIPAC) に参加	
		アジア太平洋経済協力 (APEC) からの講演招待に対応	
	農薬使用でへい死した可能性のある蜜蜂に含まれる農薬の定量	9 件結果報告	
	生物農薬の審査の更なる充実に向けた検討	農薬対策室に技術的知見を提供	
再評価に係る申請者からの事前相談への対応	農林水産省と連携して申請者に対応、審査ガイダンスの改訂案作成		
農産物中に係る農薬の使用状況及び残留状況調査業務	残留農薬分析点数	475	
	(内訳) 野菜・果実類	415	
	(内訳) 米穀	60	
調査研究業務		6 課題	

※4 農林水産大臣からの審査指示件数：前年度から審査を継続し、令和5年4月1日時点での審査未了農薬を含む。

※5 GLP (Good Laboratory Practice)：優良試験所規範



OECD会議の様子

農薬は化学合成品だけではないよ。生物農薬について、評価に必要なデータを、国際的に統一することを目指して、OECDの会議で話し合ったよ。



FAMICイメージキャラクター
アミ (AMI)

3 飼料及び飼料添加物関係業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急要請業務		1 件	
飼料等の立入検査等業務	立入検査件数	294	
	取去品の分析点数	258	
	要指導として技術的助言を実施	4 件	
愛玩動物用飼料（ペットフード）の立入検査業務	立入検査件数	62	
	集取品の分析点数	110	
	要指導として技術的助言を実施	要指導対象なし	
牛海綿状脳症の発生防止関係業務	大臣確認検査件数（※6）	94	
	センター確認検査件数（※7）	32	
安全性確保に関する検査等業務	基準・規格等の妥当性調査件数	6	
	薬剤耐性菌発現モニタリング調査件数	7	
	飼料等のモニタリング検査点数	733	
	(内訳) 飼料中の飼料添加物	15	
	(内訳) 有害物質	454	
	(内訳) 病原微生物	86	
	(内訳) 肉骨粉等	178	
(内訳) 遺伝子組換え体	0		
	ISO/IEC 17025（※8）認定の維持	ISO/IEC 17025(2017)認定を維持	
検定等関係業務	飼料添加物の検定件数	103	
飼料等の製造工程管理及び品質管理等に関する検査等業務	GMP適合確認検査件数	97	
	(内訳) GMPガイドラインに基づく適合確認（※9）	95	
	(内訳) 抗菌剤GMPガイドラインに基づく適合確認	2	
	特定飼料等製造業者及び規格設定飼料製造業者の調査件数	1	
	輸出証明検査件数	27	
	エコフィード認証制度及びUCオイル認証制度に係る確認検査件数	2	
	飼料製造管理者認定講習会	e-ラーニング及びCBTにより開催(109名)	
		顧客満足度（※10）	3.9
	GMPガイドラインの研修	GMPガイドラインの研修会	e-ラーニングにより開催(763名)
			顧客満足度（※10）
		メールマガジン	6 回配信
		外部精度管理を実施する飼料等製造業者等への技術的助言及び協力件数	198
		登録検定機関の技術的助言	要助言対象なし
WOAH（※11）コラボレーティングセンター関係業務	飼料研究報告の要旨英訳		
	令和4年度特定添加物検定結果の英文翻訳		
	WOAHへ活動に関する報告書の提出		
	日本の飼料の安全性及び品質管理並びにこれらに関するFAMICの役割等について、説明及び意見交換		
	日本の遺伝子組換え飼料の安全性確認手続き等の説明及び意見交換		
調査研究業務		9 課題	

※6 大臣確認検査：チキンミールや魚粉等の製造工程が製造基準に適合しているかの確認検査。

※7 センター確認検査：肉骨粉等を原料とするペットフード等の製造事業場が製造基準に適合しているかの確認検査。

※8 ISO/IEC 17025：試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

※9 GMPガイドラインに基づく適合確認：飼料等の適正製造規範（GMP）ガイドライン（平成27年6月17日付け農林水産省消費・安全局長通知）に基づき、申請に応じて、製造管理及び品質管理の方法が適切になされているか確認する検査。

※10 顧客満足度：5段階評価の平均値。

※11 WOAH（World Organisation for Animal Health）：国際獣疫事務局

4 食品表示の監視に関する業務

業務名		実績	
農林水産省からの緊急命令等業務		実績なし	
食品表示法に基づく 立入検査等業務	立入検査	件数	15
		事業所数	21
		延べ回数	50
		入手した試料の科学的検査件数	16
	行政部局要請調査（※12）	件数	15
		事業所数	28
		延べ回数	33
		入手した試料の科学的検査件数	6
食品表示の科学的検査 業務	科学的検査件数（総数）	5,680	
	うち疑義が認められた件数	74	
	うち原産地表示検査件数	2,521	
	（内訳）生鮮食品	1,451	
	（内訳）加工食品	1,070	
	うち遺伝子組換え表示検査件数	258	
	うち機動的モニタリング検査件数（※13）	42	
食品表示110番等対応 業務	不適正表示や違法なJASマーク表示に関する情報を関係部局へ回付した件数	12	
	食品表示110番に係る科学的検査件数	21	
調査研究業務		14 課題	

※12 行政部局要請調査：農林水産省、都道府県等からの要請による任意調査等。

※13 機動的モニタリング検査：分析疑義が判明した時点で速やかに買上げ及び検査を追加実施して疑義の継続性・広域性等の確認を行う検査。



原産地表示の検査（安定同位体比分析）

植物中に存在する安定同位体の割合は、植物の生育環境によって異なるんだ。

このことを利用して、食品の原産地を調べるよ。



FAMICイメージキャラクター
ミック (MIC)

5 日本農林規格、農林水産物及び食品の輸出促進等に関する業務

業務名			実績
農林水産省からの緊急命令等業務			実績なし
JASの制定等に係る業務	JAS制定に係る原案作成 又は検討件数	FAMICによる原案作成	3
		事業者団体等による検討のサポート	10
	JASの見直しに係る原案作成 又は検討件数	FAMICによる原案作成	17
		事業者団体等による検討のサポート	41
	JASの普及	英文翻訳規格数	9
	各国の有機認証制度の同等性協議に関する調査	審査及び協議国(地域)数	終了事案なし、継続して実施
林産物に用いる接着剤の同等性能確認	確認数	20	
国際規格に係る業務	ISO国内委員会の開催		4
	ISOの規格策定及び改正への貢献のために参画しているプロジェクト数		42
	うち発行済みの規格数		10
	ISO国際会議の招致・開催回数		1
	ISO国際会議への派遣回数		19
	Codex国内会議への出席回数		12
JAS登録認証機関等及び登録試験業者等に対する調査等の業務	登録認証機関等に対する調査	登録及び更新調査件数	11
		(内訳) 登録調査	5
		(内訳) 更新調査	6
	登録試験業者等に対する調査	変更調査件数	136
		登録及び更新調査件数	実績なし
		変更調査件数	2
JAS法に基づく立入検査等業務	登録認証機関等に対する立入検査	農林水産大臣への報告件数	73
		(内訳) JAS法違反の疑い	2
		(内訳) 資材評価に係る立入検査	2
		(内訳) 認証業務の確認	69
		事業所調査	64
		製品検査施設調査	21
		立会調査	134
	登録外国認証機関等に対する検査	農林水産大臣への報告件数	14
		事業所調査	14
		製品検査施設調査	6
	登録認証機関等の技術能力確認調査	調査件数	325
(内訳) 現地調査		42	
(内訳) 製品調査		283	
行政部局要請検査	報告件数	要請なし	
JASaff認定制度に基づく認定業務	認証機関又は試験業者の認定	審査件数	5
		認定業務の啓発	継続的な啓発
国際相互承認に向けた取組			2023年8月製品認証分野でIAF国際相互承認メンバーとしての地位を取得
認定農林水産物・食品輸出促進団体への協力	輸出促進団体の規格策定への協力件数		1
輸出促進	登録発行機関及び登録認定機関の登録及びその更新の申請に係る調査	登録及び更新調査件数	実績なし
		(内訳) 登録調査	実績なし
		(内訳) 更新調査	実績なし
		変更調査件数	27
	輸出促進法に基づく立入検査等業務	登録認定機関等に対する立入検査	農林水産大臣への報告件数
		(内訳) 事業所調査	11
		(内訳) 立会調査	3
行政部局要請検査	報告件数	要請なし	

6 食品の安全性に関するリスク管理に資するための有害物質の分析業務

業務名		実績
農林水産省からの緊急命令等業務		実績なし
サーベイランス・モニタリング 年次計画に従った分析業務	依頼分析件数	850
	(内訳) 小麦及び大麦中のかび毒	660
	(内訳) スイゼンジナ中のピロリジジン アルカロイド類	15
	(内訳) 魚節中の防かび剤成分	95
	(内訳) 食用植物油及び乳児用調製乳等の 3-MCPD脂肪酸エステル類及び グリシドール脂肪酸エステル類等	80
食品安全に係る有害化学物質の 分析能力の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○作成した標準作業手順書(SOP) <ul style="list-style-type: none"> ・LC-MS/MSによるココアパウダー及びチョコレート中のアクリルアミド分析標準作業書 ・ICP-MSによる農産物中のタリウム、カドミウム、鉛分析標準作業書 ○SOP作成の取組を農林水産省に報告した危害要因 <ul style="list-style-type: none"> ・乳児用調製乳(粉、液体)中の3-MCPD脂肪酸エステル類、3-MCPD、グリシドール脂肪酸エステル類、2-MCPD脂肪酸エステル類及び2-MCPDの分析法の性能検証 ・乳児用調製乳(粉、液体)中の3-MCPD脂肪酸エステル類、3-MCPD、グリシドール脂肪酸エステル類、2-MCPD脂肪酸エステル類及び2-MCPDの分析能力の確立 ・鳥肉製品、魚節及び削り節中の多環芳香族炭化水素類 ・燻製食品中のオルトフェニルフェノール及びジフェニル 	6 課題
サーベイランス・モニタリング の確認分析業務	分析実施点数	57
	(内訳) 3-MCPD脂肪酸エステル類、3-MCPD、グリシドール脂肪酸エステル類、 2-MCPD脂肪酸エステル類及び2-MCPD 分析点数	6
	(内訳) アクリルアミド分析点数	51
ISO/IEC 17025認定の維持(更新審査)		ISO/IEC 17025(2017) 認定を維持



抽出した
後は

精製

測定

スイゼンジナ中のピロリジジンアルカロイド類の分析(抽出工程)

スイゼンジナを
細かく刻むよ。



刻んだスイゼンジナに
抽出溶媒を加えて、
さらに破碎するよ。



ろ過してピロリジジン
アルカロイド類を含む
溶媒を取り分けるよ。



7 その他の業務

業務名		実績	
カルタヘナ法（※14）関係業務		実績なし	
情報提供業務			
ホームページ等による情報提供	ホームページ	顧客満足度（※15）	4.0
		更新回数	192
		アクセス回数	462,887
	メールマガジン	顧客満足度（※15）	4.0
		配信回数	49
		登録者数（令和6年3月末）	5,209
		延べ配信数	269,677
	広報誌	顧客満足度（※15）	4.3
		発行回数（毎回5,000部）	4
	事業者等からの講師派遣依頼等	顧客満足度（※15）	4.5
講師派遣		派遣回数	54
		延べ参加者数	4,048
委員派遣		派遣回数	47
データベース化されたテキスト等の件数		77	
企業等からの相談件数		3,779	
		(内訳) 肥料	2,728
		(内訳) 土壌改良資材	63
		(内訳) 農薬	60
		(内訳) 飼料及び飼料添加物	336
		(内訳) 愛玩動物用飼料	54
	(内訳) 食品	538	
講習会の開催	顧客満足度（※15）	4.3	
	事業者	技術講習会	7 回開催
		都道府県職員等	消費生活センター職員等ブロック研修
			飼料等安全性検査技術研修
検査・分析に係る信頼性の確保及び業務遂行能力の継続的向上	分析業務の精度管理	外部技能試験参加回数	11
	技術研修の実施件数	(内訳) 中堅職員技術研修	1
		(内訳) 外国語力強化研修	1
		(内訳) 業務技術研修	29
関係機関との連携			
国民生活センターとの連携	依頼による分析件数	0	
	招へい回数	4	
国際技術協力要請	専門家の派遣回数	1	
	海外研修員の受入回数	2	

※14 カルタヘナ法：遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律。

※15 顧客満足度：5段階評価の平均値。

表紙の写真



- 1 抗生物質製剤（飼料添加物）の力価測定
- 2 食品工場での原料採取
- 3 JAS構造用集成材の強度試験
- 4 FAMIC岩槻ほ場での汚泥肥料の連用試験
- 5 農産物中の残留農薬の分析